

世界のニュース

# World News

## ロケット打ち上げ記事

### 1. アリアン 5「フライト 140」 Eurobird TM 及び BSAT-2a の同 時打ち上げに成功

アリアンスペース社は3月8日午後7時51分（現地時間）にフランス領ギアナの打ち



Ariane 5 Photo

上げ射場から2機の商用衛星の同時打ち上げに成功しました。1機はユーテルサット社の衛星「Eurobird TM」でアルカテルスペース社のカンヌ工場で製作され、東経28.5度に静止し欧州、北アフリカ及び中東での衛星通信サービスを行う。もう1機の衛星は日本のB-SAT社の放送衛星

「BSAT-2a」で米国のオービタル社で製作され、東経110度の静止軌道から日本の聴視者へ直接デジタル衛星放送のサービスを予定しています。

EurobirdTM及びBSAT-2aの同時打ち上げに成功したことで、Ariane 5の技術的及び運用面での信頼性が実証されました。EurobirdTMペイロードは、Eutelsatのためにアリアンスペース社が打ち上げた14番目の人工衛星です。アリアンスペース社はEutelsatからさらに2機の衛星打ち上げを受注している。BSAT-2aは、アリアンスペース社によるフライト95で打ち上げられたBSAT-1aと、フライト108で打ち上げられたBSAT-1bに続くB-SAT社の3番目の衛星である。また、これは、Arianeによって打ち上げられた15番目の日本の人工衛星でもある。B-SAT社の次の衛星「BSAT-2b」はアリアンによって今年中旬に打ち上げが予定されている。

次の打ち上げは、「フライト141」でAriane 44Lバージョンロケットによって、インテルサット国際電気通信機構のための「インテルサット901通信衛星」である。今年末までに3機のAriane 4sと4機のAriane 5sの打ち上げを計画している。現在のArianespaceのバックログは、36の衛星と国際宇宙ステーションのための9機のATVミッションである。

- アリアンスペース社3月8日プレスリリース記事 -

### 2. 2機のスペースウェイ、シーロンチ と打上げ契約を結ぶ

3月28日-Boeing Space Systems(BSS)は、2機のSpacewayの打上げ契約をシーロンチ社と結んだ。BSSはBoeingのユニット

で (NYSE : BA ) ; シーロンチ社は、Boeing がパートナーの合併会社である。

衛星は、Being 702 モデルで、2002 年末打上げ予定の、最初の北米地域の衛星打上げ契約である。Spaceway Ka-バンド衛星は、北米地域に於けるブロードバンド及びマルチメディア用広帯域、高速通信サービスを提供するために、ユニークな新しいグローバル衛星ネットワークを使用する。衛星はバンド幅を需要に応じて可変できる Ka-バンド専用衛星である。シーロンチの打上げは 5 回成功しており、太平洋の赤道から打上げるため商業衛星を静止軌道へ打上げるために費用効率の良い打上げロケットである。

- BSS ニュースリリース記事 3月28日 -

### 3 . デルタ II,NASA の火星探査機 "Odyssey"を打上げ

ケープカナベラルの空軍射場から、4月7日 デルタ II ロケットは、NASA の火星探査機 "Odyssey" を火星に向けて打上げる事に成功しました。 17A 射場から午前 11 時 02 分 EDT に打上げられた。今回の打上げは、1999 年 1 月以降で火星に行く探査機として、最初の打ち上げとなる。ロケット打上げ後 31 分、高度 850 海里で探査機はロケットの 3 段目から切り離され、今後 6 ヶ月の火星への旅に出発した。デルタ II 7925 は、9 台の固体サブブースターを 1 段目主ロケットに取り付けられており、2 段目ロケット及び 9.5 フィートのフェアリング部分が取り付けられている 3 段式ロケットである。これまでの火星探査ミッションは、Mars

Pathfinder, Mars Global Surveyor, Mars Climate Orbiter and Mars Polar Lander/Deep Space 2 である。



Delta 7925 Photo

- ボーイング・デルタ プレスリリース記事 4月7日-

### 衛星関連記事

#### 1 . BSAT-2a 衛星打ち上げ成功

数百万の日本の視聴者に衛星デジタル放送を提供する BSAT-2a 衛星がフランス領ギアナのクールー打ち上げ射場から 3 月 8 日にアリアン 5 型ロケットで打ち上げられた。打上げロケットは、午後 5 時 51 分 (EST) ごろに アリアン 5 ロケットから切り離され、BSAT-2a 衛星は 30 分後にトランスファー軌道に無事投入されました。衛星はその後、静止軌道に移され、数週間の軌道上試験で性能を確認し、最終目的位置、東経 110 度に移動し固定されます。BSAT-2a 衛星のサービス開始は、4 月後半

からと期待されています。



**BSAT-2 イメージ Orbital 社 提供**

衛星の初期試験の結果では、すべてのシステムが正確に動作しています。

BSAT-2a 衛星は、日本の B-SAT 社のために、Orbital 社が製造した衛星で BSAT-2a 及び 2b の 2 機で構成されており、その 1 号機目の衛星です。BSAT-2b 衛星は、BSAT-2a の軌道上バックアップとして打ち上げられる予定です。

BSAT-2a/-2b 衛星はオービタル社が全体を纏め、スペースシステムズ/ロラル社が Ku-バンド通信ペイロードを製作した。

今後、10 年間の運用が期待されている。オービタル社のデイビット・トンプソン会長は「私達は非常に満足で、BSAT-2a ミッションの最初の段階は大変うまくいっています。私達は、この最新のシステムで、信頼できるテレビ放送サービスを B-SAT 社が提供できることを期待します。」とのコメントを発表しました。

BSAT-2 と N-STAR c 衛星はオービタル社の小型衛星バス「STAR」ファミリーを用いている。

- オービタル社 3 月 9 日プレスリリース記事 -

## 2 . オービタル社、パンナムサット社から 3 機の C バンド通信衛星を受注

オービタル社は、PANAMSAT 社から 3 機の C バンド通信衛星の製造会社を選定された事を発表した。オービタル社はこの新しい契約によって)通信衛星のグローバルマーケットで主要な衛星供給業者として認定された。今日 発表された PanAmSa 社は商業用 GEO 通信衛星の世界で最大のプライベート衛星所有会社である。衛星は 1 機の確定契約と 2 機の追加契約である。

パンナムサットのダグラス・カーン社長兼最高経営責任者は「Orbital の静止衛星は、オービタル社が得意とする市場サイズの衛星であると同時に、私達が顧客に提供する高度なサービスの為に最も適合した衛星である。」と述べています。

- オービタル社 3 月 1 9 日プレスリリース記事



PanAmSat-Orbital 調印の写真 Orbital 提供